

令和3年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和3年12月21日(火曜日)

○日時 令和3年12月21日 午後3時10分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 行政視察の取りまとめ方法について

○出席委員(6名)

委員長	松浦敏司
副委員長	近藤憲治
委員	石垣直樹
	金兵智則
	工藤英治
	澤谷淳子

○欠席委員(0名)

○委員外議員(0名)

○傍聴議員(0名)

○事務局職員

事務局長	林幸一
次長	石井公晶
総務議事係主査	寺尾昌樹

午後3時10分開会

○松浦敏司委員長 ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

本日の議件であります。先ほど行われました行政視察の取りまとめ方法についてであります。

従前より行政視察を行った後に、各委員が行政視察の感想などをレポートにまとめ文書で提出、ホームページで公開するとともに、委員会を開催して、口頭でも報告していたところでありました。

今回は、オンラインによる行政視察でありましたが、従来の行政視察と基本的には変わりありません。

このことを踏まえて、今回のオンラインによる行政視察の取りまとめ方法について御協議いただきたいと思っております。

皆さんの御意見を伺わせてください。

○工藤英治委員 口頭だけでもいいし、または文書

でもいいし、みんなの意見に従います。

○松浦敏司委員長 工藤委員からそのような話がありました。他の委員どうでしょうか。口頭でも文書でもということですが。

○金兵智則委員 例年でいくとレポートで出してということで、また改めて委員会を開いて、そこでまた口頭で説明しながらということだったと思いますけれども、今回オンラインだからという意味ではなくてですね、せっかく今日やっすぐ委員会を開いていますので、記憶の新しいうちに、もし正副委員長の御承諾がいただけるのであれば、ここで皆さんに意見を言っていていただいて、それを正副委員長のほうでまとめていただいて、取りまとめとしていただくのが一番スムーズな流れなのかなと思うのですが、いかがですか。

○松浦敏司委員長 今、そのような金兵委員からの提案がありました。他の委員どうですか。

いいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは今、行政視察した感想やら皆さんから率直に出していただいて、後ほど正副でそれをまとめて、議長に報告するというふうな方法を取りたいと思っております。

それでは、どなたからでも発言をお願いします。

○澤谷淳子委員 やはり皆さんは、スマホの投票で地方選とか国政選挙も本来ならば早く取り入れたいという思いは、きっとおありだったのだなというのがわかりました。

私がちょっと勘違いして、つくば市は1回でも2回でも地方選でやったことがあるのかなと思ったのですけれども、やはりそこは法整備の問題とか、そういうのがいろいろと先ほどお聞きしますと、自治体に取り込むにはやっぱりいろいろ道や国の承認とか、いろいろ経なければならぬことがあって実際にはまだだとおっしゃっていたので、ただ今後、地方選から先になるのか、国政全部から先なのかはわからないのですけれども、このスマホ投票が1日も早く取り入れられるようになればいいと思います。

やっぱり何でしたっけ、当市の答弁でも二重投票を防ぐ問題があるというのはよく何回もおっしゃっ

ていたのですけれども、本人確認がスマホで本当にできるのかというのが、実際の選挙戦になるとちょっとその辺りをやっぱり何かきちんとしたものに決めなきゃいけないなと思いましたが、大変生徒会の投票については楽しく聞かせていただきました。

ありがとうございました。

○松浦敏司委員長 他の委員。

○工藤英治委員 インターネット投票、これからデジタル化を推進していく以上は、当然行われるものと思っています。

その時期的には非常にわかりませんが、しかし先ほどずっと聞いていて、不正とか当然、また投票結果の保全等々いろいろございます。

しかし、これら全て僕は改善されるものと思っています。

しかし、人為的な問題、ミスとか故意の問題、これはいつまでたっても残る問題だと思います。

これらのインターネット投票を行われてからも、改善、改善、改善というのは、逐次あるものだと思います。

この問題を解決しなければネット投票ができなくなれば、いつまでたってもできない問題であって、いつでもあるのだ、改善するのだからという問題意識を持って行うのであれば、インターネット投票というのは早急な形でできると思います。

しかし、これが国政選挙、道の選挙まで鑑みると非常に時間がかかるなど。

まず、網走市でできる地方選挙を通して、認知させられるものがあるのならば、早急にやると。

このことをね、宣言して国の出方、道の出方をね、鑑みるという方法も一つかな、そんな思いがします。

○松浦敏司委員長 他の委員。

○石垣直樹委員 はい、お話いただきましたVOTE FORの市ノ澤社長から、様々な先進的取組を伺わせていただきました。

つくば市での実証実験を踏まえて、また全国の事例を見ても、なかなかまだまだこのインターネット投票、デジタル投票、オンライン投票ができる状況ではないというのを改めて理解させていただきました。

しかし、ほかの議員からもお話あったとおり、これから解決できるであろうと私も思っております。

ただ、法整備を含めて国が主導して進めなきゃい

けないことなのかなと思っています。

このインターネット投票に関しては、投票率を向上させる手法の一つだと思いますので、これ以外にも投票率を上げる方法を模索しながら自治体としても、国としても、今後推移を見守っていかなきゃいけないのかなというふうに思っております。

以上です。

○金兵智則委員 大変有意義なお話を聞かせてもらったのかなというふうに思います。

インターネット投票はこの人口減少が進む中で、これまでどおり投票所を開設してっていう、やっぱり人力的な問題としてもね、やっぱりインターネット投票はしていかなきゃいけないのだと思います。

このコロナというものもあるのだとは思いますが、今後の社会を見据えた中で、やっぱりインターネットは必要なのだということが、今回よくわかったなというふうに思います。

各種課題があるというのはわかりましたけれども、これは進めていかなきゃいけないことなのだなというふうに思いました。

あとですね、一応文教民生委員会の視察ですので、やっぱり教育の面の部分で、つくば市で行われたネット投票のお話、大変有意義に聞かせていただきましたし、やっぱり子供たちがやっていて楽しそうだったという話を聞いて、そういう単純なところからね、自分がいつも使っているスマホから投票ができるのだということで、選挙が身近に感じてもらえるような取組、議会としても二つの高校へ行っていますけれども、アンケートを見させていただければ、とてもいいことと書いています。

僕が同じ高校生だったとしても、ああいう回答になるのだとは思いますが、より一歩進む方法をね、これを各高校に持って行ってできるっていうものでもないと思うので、何かこういうインターネット投票、デジタル化を含めた中で議会報告会も少し変えていけたらいいなと思っておりますけれども、それがどんな方法かは、僕は全く思いつかないですけれども、文教民生委員会の視察としてはやっぱりその主権者教育の中に、もう少しこういうことを組み込んでいければいいなというふうに感じた視察だったかなというふうに思います。

○松浦敏司委員長 ありがとうございます。

○近藤憲治委員 今日は、インターネット投票を主権者教育で用いるという視点の視察でした。

中高一貫校での生徒会選挙でインターネット投票

を使ってみると、子供たちのいわゆる投票行動に対しての関心が高まるというエビデンスが、はっきりあるということがわかるお話でありました。

選挙管理委員会も、それから教育委員会も、日本全国津々浦々の自治体で政治参画意識の向上とか、いろいろとやっていますけれども、どこまで効果があるのかなと思うような取組が多いのですが、このインターネット投票という切り口は、まさに教育の受け手側である生徒たちがやりたい、これだったら投票に行くという思いがまず前提にあるものですから、そのニーズに寄り添っている取組なのだろうなというのを率直に感じた次第であります。

今後の社会のありようを考えますと、人口減少もあるし、高齢化もありますので、やはり今までどおりの投票の在り方から変えていく必要があるかと思えますし、国の法制度が追いついていないという部分も今日明らかになりましたけれども、例えば茨城県取手市議会なんかは、総務省がまだ言ってもいないうちから常任委員会でオンラインにより委員会を開き、採決までするというような、地方議会から先にムーブメントをつくっていったというような経過もございます。

ですので、このインターネット投票、今つくば市がかなり先を走ってくれていますけれども、やはり我々としてもですね、網走だったらどんなやり方ができるのかというのを考えていく必要もあるなと感じた視察でございました。

ありがとうございました。

○松浦敏司委員長 私のほうからも一言だけ言わせてください。

桂陽高校とか、南高とも交流しましたがけれども、選挙に行こうということで、それはまさに子供たちからも実はね、インターネットで投票したい、なぜできないのだという声が上がっていたのですけれども、それがまさに今日の視察の中でも子供たちが非常に楽しいというふうに言っていたというふうに言っていましたように、やっぱりそういうものなのだなど。

だから、今の時代に合わせた投票方法というのを改善していかないと駄目なのだなどということをつくづく感じたところであります。

とりあえず私のほうからは以上です。

一通り皆さんから意見を出していただきました。

この後は正副でまとめて報告することにしたいと思っておりますので、今日はこの辺で終わりにしたいと思

いますよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは、今日の文教民生委員会をこれで閉会いたします。

御苦勞さまでした。

午後 3 時 22 分閉会